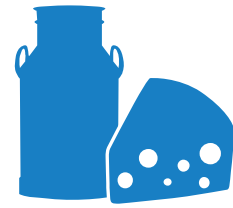


# 牛乳・乳製品



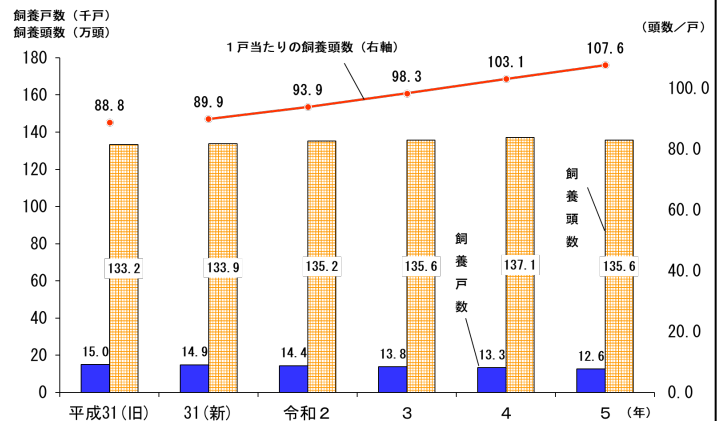
## ◆飼養動向

### 5年2月現在の乳用牛飼養頭数、前年比1.1%減

乳用牛の飼養戸数は、酪農家の高齢化や後継者不足などにより離農が進んでいることから、令和5年は、前年を700戸下回る1万2600戸（前年比5.3%減）とやや減少した（図1）。

また、飼養頭数は、5年では135万6000頭（同1.1%減）と、前年をわずかに下回ったものの、1戸当たり飼養頭数は、107.6頭（同4.4%増）と前年からやや増加し、2年連続で100頭を超える結果となったことから経営の規模拡大の進展が見受けられる。

図1 乳用牛の飼養戸数および飼養頭数の推移



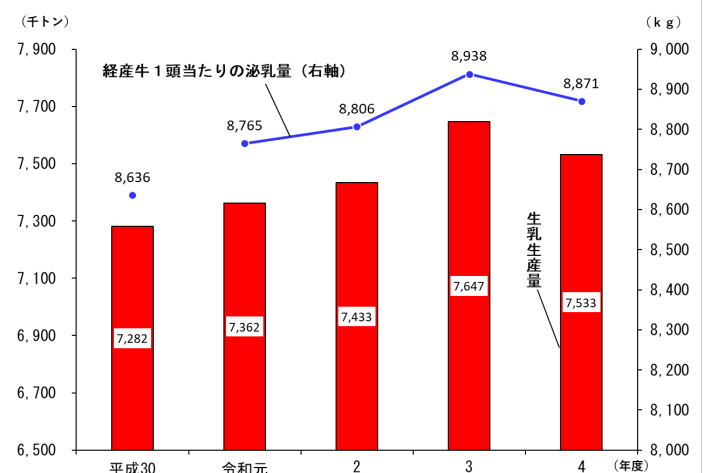
資料：農林水産省「畜産統計」  
 注1：各年2月1日現在。  
 注2：平成31年(旧)までは従来実施してきた飼養者を対象とした統計調査。平成31年(新)以降は牛個体識別全国データベースなどの行政記録情報や関係統計により集計した加工統計であり、統計手法が異なる。

## ◆生乳生産

### 4年度の生乳生産量、前年度比1.5%減

令和4年度の全国の生乳生産量は、飼養頭数や1戸当たりの泌乳量の減少などにより、753万2513トン（前年度比1.5%減）と4年ぶりに前年度をわずかに下回った（図2）。経産牛1頭当たりの泌乳量は、4年度は8871キログラム（同0.7%減）となった。

図2 生乳生産量・経産牛1頭当たりの泌乳量の推移（全国）



資料：農林水産省「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」  
 注1：経産牛1頭当たりの泌乳量は、畜産統計および牛乳乳製品統計のデータを基に機構にて算出。  
 注2：畜産統計について、令和元年から統計手法が変更されたため、経産牛1頭当たりの泌乳量については令和元年度以降の数値は、平成30年度までの数値と接続しない。

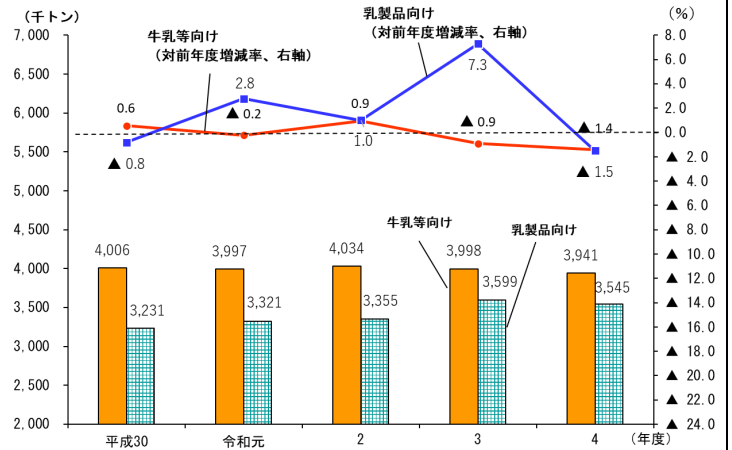
## ◆用途別生乳処理量

### 4年度の乳製品向け処理量、前年度比1.5%減

令和4年度の用途別生乳処理量を仕向け先別に見ると、牛乳等向けは394万1083トン（前年度比1.4%減）と前年度をわずかに下回ったものの、生乳生産量に占める牛乳等向け処理量の割合を表す市乳化率は、生乳生産量が減少したことなどから52.3%と前年度同であった（図3）。

また、乳製品向け処理量は354万5261トン（同1.5%減）と前年度をわずかに下回った。

図3 用途別生乳処理量の推移



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

## ◆乳製品向け処理量

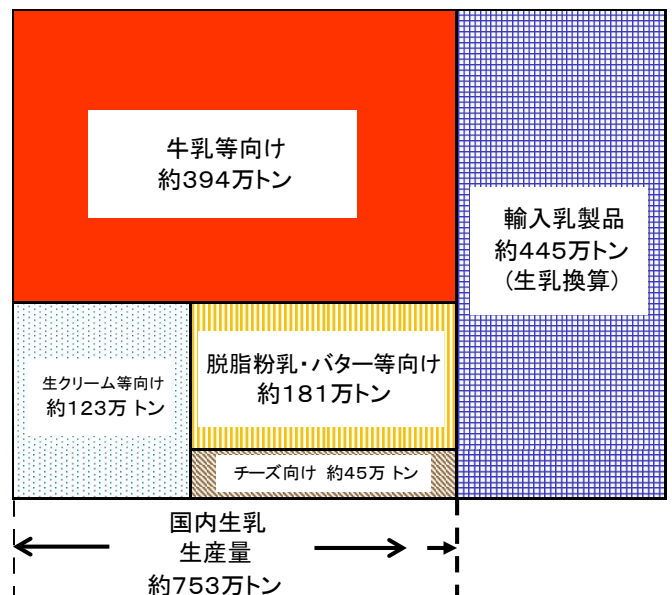
### 4年度の脱脂粉乳・バター等向け生乳処理量、前年度を下回る

令和4年度の生乳の需給構造を見ると、生乳生産量は約753万トンと前年度を下回った（図4）。

このうち乳製品向け処理量を区別に見ると、脱脂粉乳・バター等向けは、約181万トン（前年度比2.7%減）と前年度をわずかに下回った。また、チーズ向けは約45万トン（同2.3%増）と前年度をわずかに上回り、生クリーム等向けは、約123万トン（同1.6%減）と前年度をわずかに下回った。

また、輸入乳製品（生乳換算）は、約445万トンと3年連続で減少した。

図4 生乳の需給構造の概要（令和4年度）



資料：農林水産省「畜産・酪農をめぐる情勢」

注1：国内生乳生産量の中には、このほか、他の用途向け（約5万トン）や自家消費等（約5万トン）の生乳がある。

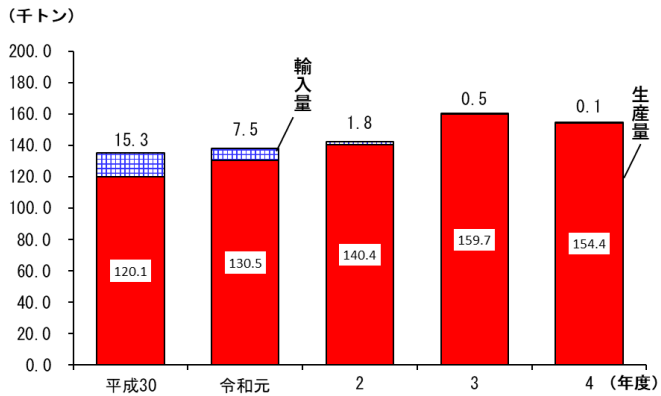
注2：生クリーム等向けは、生クリーム・脱脂濃縮乳・濃縮乳に仕向けられたものをいう。

◆ 脱脂粉乳

4年度の民間期末在庫量、前年度比34.1%減

令和4年度の脱脂粉乳の生産量は、15万4373トン（前年度比3.3%減）と前年度をやや下回った。また、同年の輸入量（機構輸入分のみ）は、91トン（同81.6%減）と大幅に減少した（図5）。

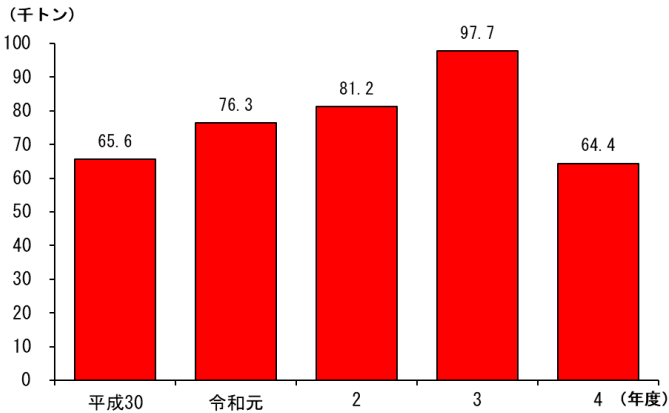
図5 脱脂粉乳の生産量・輸入量の推移



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構調べ  
注：輸入量は機構輸入分のみ。

こうした中、4年度の推定出回り量は、18万7878トン（同30.6%増）と前年度から大幅に増加し、4年度の民間期末在庫量は、6万4392トン（同34.1%減）と前年度を大幅に下回った（図6）。

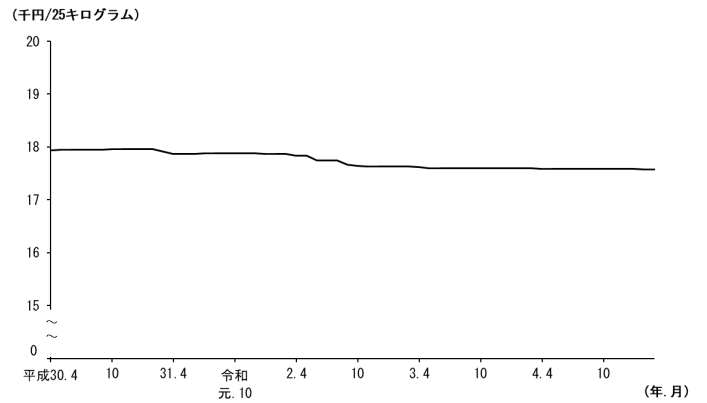
図6 脱脂粉乳の民間期末在庫量の推移



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構調べ

令和4年度の脱脂粉乳の大口需要者価格は、25キログラム当たり平均1万7580円と前年度並みであった（図7）。

図7 脱脂粉乳の大口需要者価格の推移



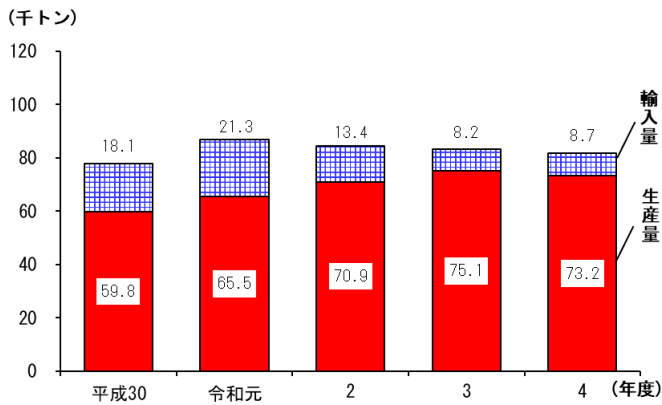
資料：農林水産省「大口需要者向け価格の動向」  
注：消費税を含む。

◆バター

4年度の生産量、前年度比2.6%減

令和4年度のバターの生産量は、7万3157トン（前年度比2.6%減）と前年度をわずかに下回った。一方、同年度の輸入量（機構輸入分のみ）は、8680トン（同6.0%増）とかなりの程度上回った（図8）。

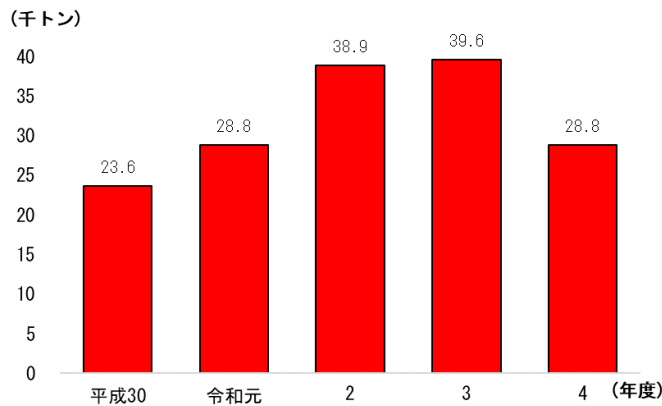
図8 バターの生産量・輸入量の推移



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」  
注：輸入量は機構輸入分のみ。

輸入量は増加したものの、同年度の推定出回り量は9万2875トン（同12.1%増）とかなり大きく増加した上に、生産量の減少などの影響もあり、同年度の民間期末在庫量は2万8831トン（同27.1%減）と大幅に減少した（図9）。

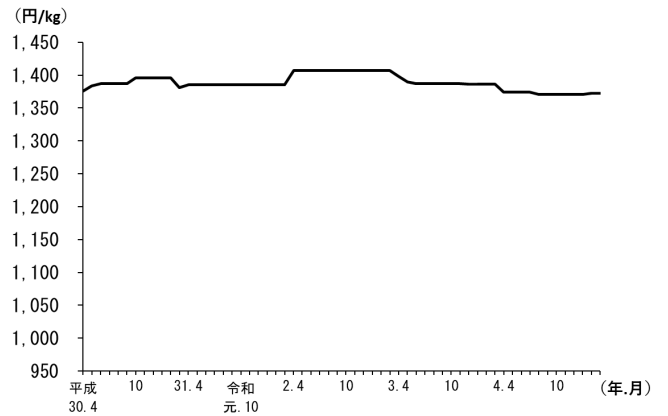
図9 バターの民間期末在庫量の推移



資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構調べ

4年度のバターの大口需要者価格は、1キログラム当たり平均1372円（同1.1%安）とわずかに低下した（図10）。

図10 バターの大口需要者価格の推移



資料：農林水産省「大口需要者向け価格の動向」  
注：消費税を含む。

## ◆チーズ

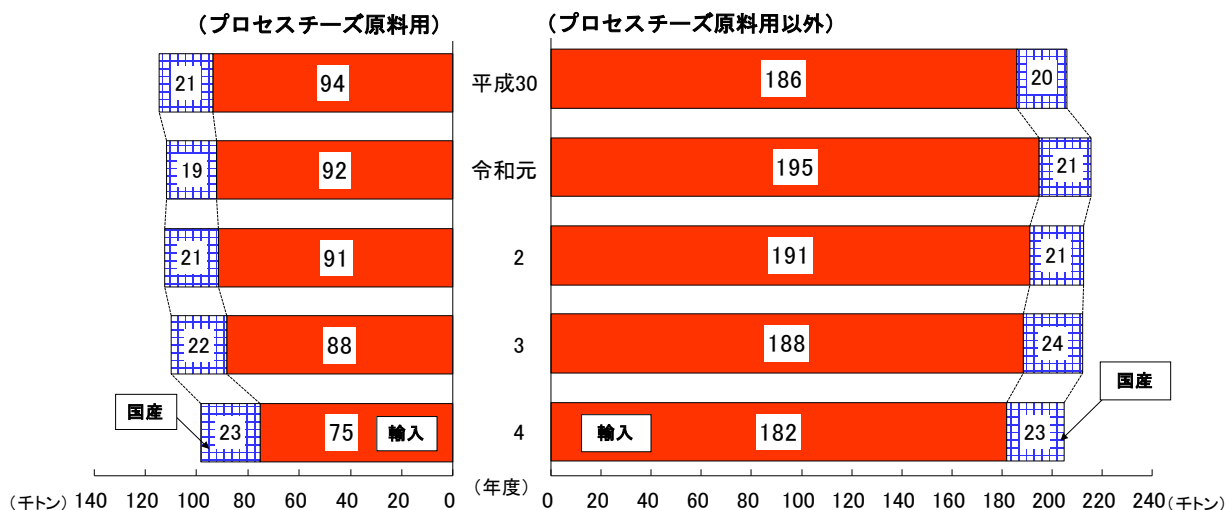
### 4年度の総消費量、前年度比5.3%減

#### チーズの生産量・輸入量

令和4年度のナチュラルチーズの輸入量(プロセスチーズ原料用+プロセスチーズ原料用以外)は、25万6902トン(前年度比7.1%減)とかなりの程度減少した。内訳を見ると、プロセスチーズ原料用は7万5192トン(同14.8%減)とかなり大きく減少し、プロセスチーズ原料用以外は18万1710トン(同3.5%減)とやや減少した(図11)。

国産ナチュラルチーズの生産量(プロセスチーズ原料用+プロセスチーズ原料用以外)は、4万6162トン(同1.8%増)とわずかに増加した。内訳を見ると、プロセスチーズ原料用が2万3281トン(同7.9%増)とかなりの程度増加し、プロセスチーズ原料用以外が2万2881トン(同3.7%減)とやや減少した。

図11 ナチュラルチーズの生産量・輸入量の推移



資料：農林水産省「チーズの需給表」

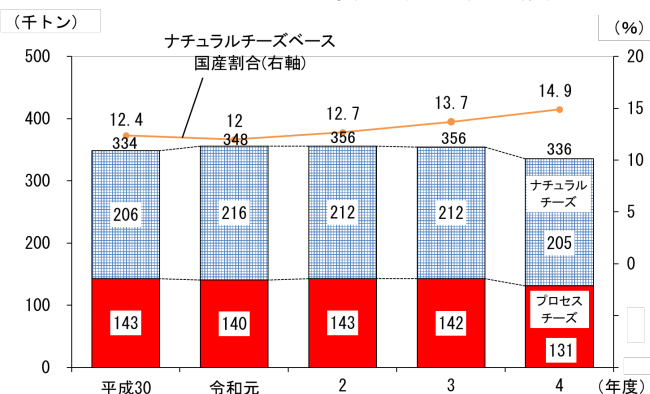
注：プロセスチーズ原料用以外とは、直接消費用、業務用、その他原料用として使用された量。

#### チーズの総消費量

令和4年度のナチュラルチーズ消費量は、20万4591トン(前年度比3.5%減)となった。また、プロセスチーズ消費量は、13万1019トン(同8.0%減)とかなりの程度減少した(図12)。

この結果、ナチュラルチーズとプロセスチーズを合わせた総消費量は33万5610トン(同5.3%減)とやや減少した。

図12 チーズの総消費量と国産割合の推移



資料：農林水産省「チーズの需給表」

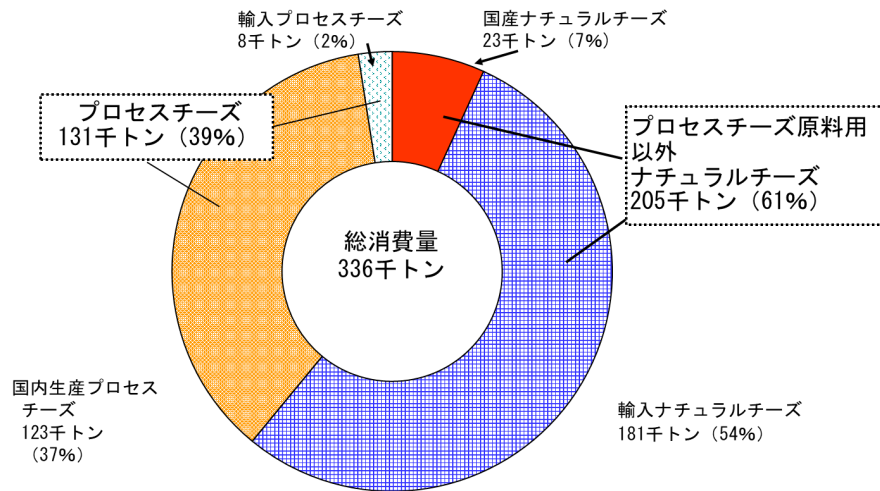
## チーズ総消費量の内訳

令和4年度のチーズ総消費量に占める国産チーズの割合は、国内生産量が増加した一方、輸入が減少したことから14.9%（ナチュラルチーズベースに換算した場合の自給率）となり、前年度より1.2ポイント上昇した。

うち、プロセスチーズ原料用以外のナチュラルチーズについては、国産の生産量が2万2881トン（前年度比3.7%減）、輸入量は18万1710トン（同3.5

%減）とともに前年度をやや下回ったことから、国産の割合は11.2%と前年度並みとなった（図13）。また、プロセスチーズ原料用のナチュラルチーズについては、国産の生産量が2万3281トン（同7.9%増）と前年度をかなりの程度上回り、輸入量が7万5192トン（同14.8%減）とかなり大きく下回ったことから、国産の割合は23.6%と前年度より4.0ポイント上昇した。

図13 令和4年度のチーズ総消費量の内訳



資料：農林水産省「チーズの需給表」  
 注1：プロセスチーズ原料以外とは、直接消費量、業務用、その他の原料用として使用されたもの。  
 注2：四捨五入の関係で、必ずしも合計値が文中の数字と一致しない。

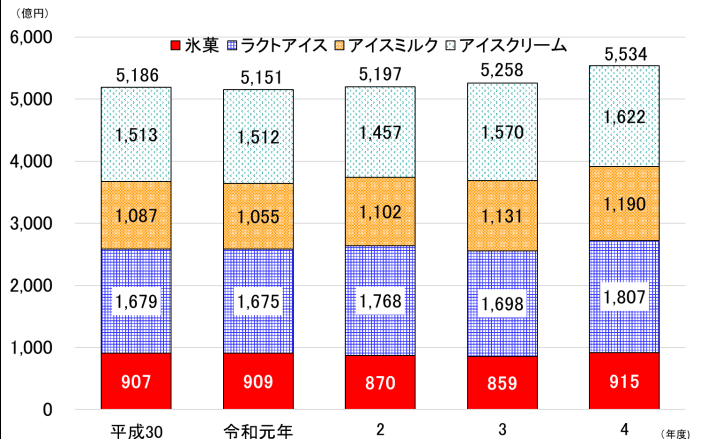
## ◆アイスクリーム

### 4年度の輸入量、前年度比1.4%減

令和4年度のアイスクリームの市場規模は、販売金額が、5534億円（前年度比5.2%増）となり、やや前年度を上回った（図14）。

需給動向を見ると、令和4年度の国産アイスクリーム生産量は、13万98キロリットル（同0.4%減）、輸入量は、5867トン（同1.4%減）とともにわずかに減少した。

図14 種類別アイスクリームの市場規模の推移



資料：一般社団法人 日本アイスクリーム協会「2022年度 アイスクリーム類及び氷菓 販売実績」、農林水産省「牛乳乳製品統計」、財務省「貿易統計」